



新しい水産業の未来をつくる
GOWグループの
アクションプランについて

鹿児島市

垂水市

2021年3月23日

グローバル・オーシャン・ワークスグループ



GLOBAL OCEAN WORKS GROUP

For a More Delicious World

Local to Global

~鹿児島から新しい水産業の未来をつくる~

私たちグローバル・オーシャン・ワークスグループは、人と社会、そして地域に貢献し「おいしさ」の世界を拡げ、「健康・安心」への期待に応えるというミッションのもと、世界が求める食の未来をつくる企業グループです。



GLOBAL OCEAN WORKS GROUP

For a More Delicious World

GOWグループ企業理念

世界がもとめる食の未来を創る

GOWグループ ミッション（社会的役割）

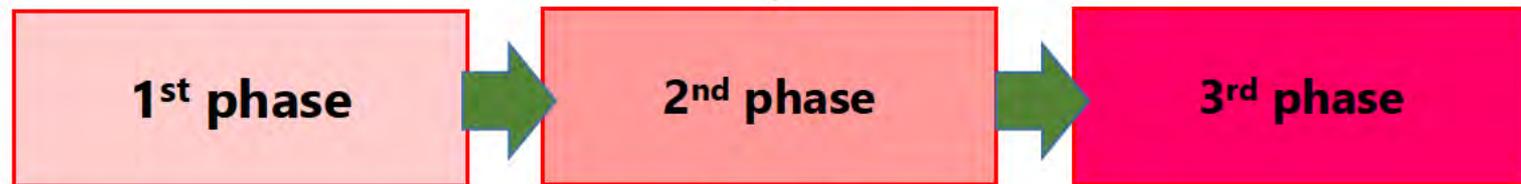
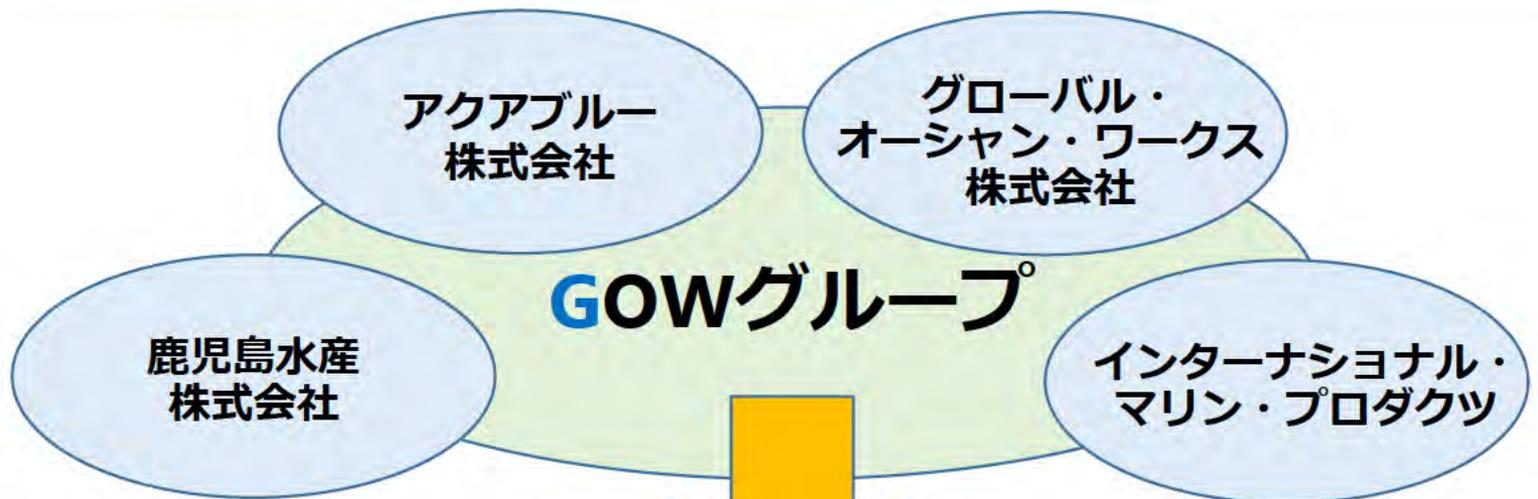
**人と社会、そして地域に貢献し、
「おいしさ」の世界を広げ、「健康・安心」への期待に応える**

GOWグループ ビジョン（目標）

**地球規模で食を考え、
水産業のリーディングカンパニーになる**

An aerial photograph of the Kagoshima Bay region in Japan, overlaid with a semi-transparent blue map showing city boundaries. The map is centered on the bay, with four cities labeled in blue text: 始良市 (Shirai) at the top, 霧島市 (Kirishima) at the top right, 鹿児島市 (Kagoshima) on the left, and 垂水市 (Sumi) at the bottom right. A large, bold black title is centered over the bay area.

成長戦略のためのアクションプラン



GOWグループの力を結集させた
アクションプランの推進による、ミッションの達成と
ACベイエリアの展開

グローバル・オーシャン ・ワークス株式会社



<会社概要>

- ◆2009年5月25日設立 ◆資本金：5億1000万円
- ◆従業員数：53名
- ◆事業：養殖ブリの製造加工・販売業（主に冷凍品）
- ◆販売先：輸出（アメリカ）
- ◆売上高：約35億円

<工場概要>

- ◆敷地面積：460㎡
- ◆取得認証：HACCP（2010年2月）BRC（2017年5月）

<施設登録>

アメリカ・ロシア・中国・ナイジェリア
ウクライナ・ベトナム・ブラジル（検討中）

<ストロングポイント>

優れた加工技術を持ち、
世界基準の認定も取得。
こうしたノウハウを活用し、
世界各地に販売促進中。



インターナショナル ・マリン・プロダクツ



<会社概要>

- ◆設立：1968年2月14日
- ◆資本金：100万ドル
- ◆支店数：西海岸を中心とする北米6支店
- ◆従業員数：95名（全支店合計）
- ◆事業：水産食品の輸入・販売
（高級日本料理店やアジア系スーパー）
- ◆取得認証：HACCP、SQF
- ◆売上高：90M \$

<アメリカ：6拠点+日本1拠点> ※シカゴ（準備中）
ロサンゼルス本店、サンフランシスコ、ソルトレイクシ
ティ、アリゾナ、ヒューストン、東京

<ストロングポイント>

IMPは、世界で展開する「NOBU」
をはじめとした北米エリアの外食産
業および中食・流通小売へ、マグロ、
はまちなどを中心に魚介類等の供給
を担う。
高品質の供給体制が評価されている。

アクアブルー株式会社



<会社概要>

- ◆2012年10月5日設立
- ◆資本金：500万円
- ◆従業員数：39名
- ◆事業：養殖ブリの製造加工・販売業（主に冷蔵品）
- ◆販売先：国内・輸出（アメリカ・アジア）
- ◆売上高：約25億円

<工場概要>

- ◆敷地面積：473㎡
- ◆取得認証：SQF（2014年3月）

<施設登録>

アメリカ(アクアブルーUSA)・中国・ナイジェリア
ウクライナ・ベトナム・ロシア(申請中)
ブラジル(申請中)・EU(検討中)

<ストロングポイント>

水揚げから加工、出荷までを短時間でいき、かつ温度・水分管理を徹底することで抜群の鮮度を実現。近年では香港や東南アジアへも出荷している。



鹿児島水産株式会社



<会社概要>

- ◆2014年5月12日設立
- ◆資本金：500万円
- ◆従業員数：13名
- ◆事業内容：委託養殖事業／養殖魚マネジメントとマーケティング管理



- ◆認証規格：ASC（2017年12月）
- ◆売上高：約35億円（養殖魚／飼料販売）

<ストロングポイント>

マーケット・インの考え方に基づく、養殖ビジネスの管理全般が得意領域。安心安全の担保と安定供給をもとに、養殖の近代化に取り組む。

1st phase

■ GOWグループのブランディング強化

- 1) 水産総合商社の確立
- 2) 組織体制の強化 (※「GOWグループ未来創造ラボ」の新設)
＜GOWグループ未来創造ラボの役割＞
 - グループ各社を横断したブランディング/クリエイティブの管理
 - SDGs関連の企業活動の推進、魚食や水産・養殖ビジネスの啓蒙
 - マーケット・インを考慮した商品開発/マーケティング体制の構築
 - テクノロジー活用の他、異業種やスタートアップ企業等との連携推進など様々な人的・物的交流の醸成による「新しい水産業の在り方」の構築全般。

■ 近代的な養殖体制の整備 ※本日のプレゼンテーションのメイン

- 1) 養殖管理体制の向上
 - 共同購買、計画生産、計画出荷、品質統一、ブランド化の実現
 - グローバルに適した養殖管理の実現
- 2) GOWグループが考える養殖産業のミッションの推進

2nd phase

■ 世界進出を意識した体制強化

- 1) 錦江湾エリアにおける養殖・輸出の特区 (ライセンス化)
- 2) 港や施設設備の整備・新設

■ 国内物流網の整備

- 1) 陸・海・空路の整備

■ 販売エリアの拡大

- 1) 海外における販路拡大のための重点施策
- 2) その他新たな販路の開拓 (直販体制、D2C事業、EC事業など)

3rd phase

■ AC (Aqua Culture) ベイエリアの構築

始良市

霧島市

1st phase

- GOWグループのブランディング強化
- 近代的な養殖体制の整備

鹿児島市

垂水市

始良市

霧島市

GOWの水産総合商社としての企業活動が

日本の養殖業の近代化だけでなく、

次代を担う若者があこがれるような水産業全体の

価値向上に寄与していく活動および情報発信をおこなう。

鹿児島市

垂水市

1) 養殖管理体制の向上 – 1 (別紙.1参照)

■ 共同購買、計画生産、計画出荷、品質統一、ブランド化の実現

・ 資源の有効活用

- 水深が深く、養殖に適した環境
(湾内環境のため、潮流の影響を受けにくい)
- 輸出サイズ (6kg以上/尾) のトレースの取れた安全なブリを早くつくることが可能

・ 計画生産 (契約栽培) による価格安定化の実現

- 消費者のニーズに合った生産、販売
- 養殖業者と販売先 (加工場) の連携
- 出荷時期、数量、サイズ、単価を計画

・ 養殖作業の協業集約化によるコスト削減

- 稚魚の餌付け、分養作業、出荷作業、生簀清掃、船舶等

・ ブロイラー方式による製造単価の徹底管理

- 給餌方法/頻度、生簀清掃頻度、放養尾数 等
- ※生簀ごとの原価 (餌、薬、人件費、その他経費) をリアルタイムで把握し、
原価の把握と積み上げにより利益の確保につなぐ

・ IT管理による漁場環境の測定、観察

- 赤潮や低酸素の回避、成長効率の向上

1) 養殖管理体制の向上 - 2

■ グローバルに適した養殖管理の実現「テクノロジーの有効活用」

- ・ トレーサビリティとブロックチェーンの導入による情報開示と管理
- ・ 獣医師の配置による食品安全の強化（病気の診断や投薬）
- ・ 持続可能な養殖規格であるASC認証の取得
 - ASC認証（Aquaculture Stewardship Council）水産養殖管理協議会の取得
 - ※ 環境面、人事管理面など企業が成長していくうえでの教育ツールとして活用の活路を見出す
- ・ 人工種苗の導入による持続可能な養殖（計画中）
 - 大学との連携、種苗生産センターの設置
- ・ 養殖魚種の拡大
 - 養殖ブリにこだわらず養殖可能な魚種を養殖（イシガキダイ、タイ、カワハギ、シマアジ等）
- ・ 蓄養事業展開
 - 獲る漁業から育てる漁業への発展



2) GOWグループが考える養殖産業のミッション (別紙.2参照)

■ 地域一丸で取り組む養殖産業の活性化

・ 養殖の近代化

- 養殖×テクノロジーによる計画管理環境の醸成
(AIなどによる生体管理・認証)
- 近代化による次世代の人材育成

・ 事業規模の拡大によるスケールメリットの醸成

- コスト集約、研究開発やその他商品開発への投資
- 計画生産の実現、品質の統一化 = 安心安全安定供給
- 経営の安定化

・ 漁業協同組合のスクラップ&ビルド

- 老朽化した非効率な設備や機構を廃棄・廃止。新しい施設・機構に置き換えることで設備・機構の集中化、効率化を実現。



**地域経済の活性化、雇用の創出、人材育成等、
日本の地域活性化のモデルエリアとして確立。**

**鹿児島県（錦江湾）から世界へ。水産養殖業が
育む新たなグローバルスタンダードの構築を目指す**

始良市

霧島市

2nd phase

- 世界進出を意識した体制強化
- 国内物流網の整備
- 販売エリアの拡大

鹿児島市

垂水市

1) 錦江湾エリアにおける養殖・輸出の特区（ライセンス化）

- ・ 規制を受けない漁場の構築（輸出活動までの効率化実現）
- ・ 未稼働の生簀の有効活用による稼働の向上
 - 世界基準の規格に沿った加工管理の実現（BRC, SQF, HACCP、ハラール）
 - 養殖生産量に伴った加工場生産力の確保
 - 他工場との連携による150万尾の加工体制の構築を目指す
 - グローバルスタンダードに配慮した「見せる・魅せる」工場の設置（オープン化）
（観光事業とのコラボ：企業研修、インバウンド、社会科見学に活用）
- ・ 輸出活動が円滑に遂行可能な体制の整備
 - 通関システム／衛生証明書の発行／保税倉庫（冷蔵庫）の建設／物流ルートの整備
- ・ 加工残渣の利用（※加工製造工場の設置）
 - 加工残渣からサプリメントや飼料、ペットフード等を製造
 - その他、テストキッチンやラボラトリーを設置することで研究環境の充実化を図る
（大学の研究機関やペットフードメーカー、食品メーカーとの連携によるプラント建設や商品開発）



2) 港や施設設備の整備・新設

・ 港および周辺の整備

- 港の拡張工事／浮棧橋の設置／出荷場の設置 等
※船を使わずに直接生簀へのアプローチが可能
- 出荷作業の効率化（フィッシュポンプの導入）
- 製氷施設の新設



施設活用の使いやすさ、アクセスの利便性の実現。

■ 国内物流網の整備

1) 陸、海、空路の整備および特区による保税対象エリアに

- 陸路：牛根地区から鹿児島空港までのアクセス整備
- 海路：谷山港と志布志港など貿易拠点港とした世界各国へのルート整備
- 空路：鹿児島空港、福岡空港（那覇空港）、羽田空港
→ 注文受領後、世界各国へ36時間以内に届ける
- 物流ビジネスパートナーシップの醸成



錦江湾の特区化による保税エリアの認定。

海外から日本を経由する商品等についても

当該特区にて貨物を海外との間で自由に出入させることが可能な他、

関税、輸入時の税が免除される。

特区化による効率的な物流インフラ整備の構築へ。

1) 海外における販路拡大ための重点施策

・ 販売拠点の確保／拡大

- 現地の日系企業（流通小売・食品メーカー・外食産業など）との戦略的連携および開拓
- M&Aや業務提携による拠点づくり（企業買収に関する諸条件について熟慮）
- 国内外の物流との連携

・ 各国市場の定期的なリサーチと商流メンテナンス

- 各国に在住する現地リサーチャーとの連携／海外シェフネットワーク体制の整備／
定期報告と次戦略の構築（事業パートナー：株式会社TNC）

リサーチ×計画生産×物流×現地販売ネットワークによる販路拡大。

2) その他 新たな販路の開拓や連携

・小売業とのコラボレーションによる新商品の開発／販売

→ 美味しい魚食による健康生活の促進を目的に首都圏を中心にした大手小売り店舗などで販売する高付加価値ぶり商品を導入。新型コロナの影響下の内食需要拡大のなかで、自宅でも手軽に美味しく食べることができる、高付加価値の小売り商品ブランド「ぶり職人」9商品を2021年2月から順次リリース。今後も国内外の著名なシェフやレストランをはじめ、他企業、他業種との商品開発やプロモーション企画を含めた様々なコラボレーションを実施予定。

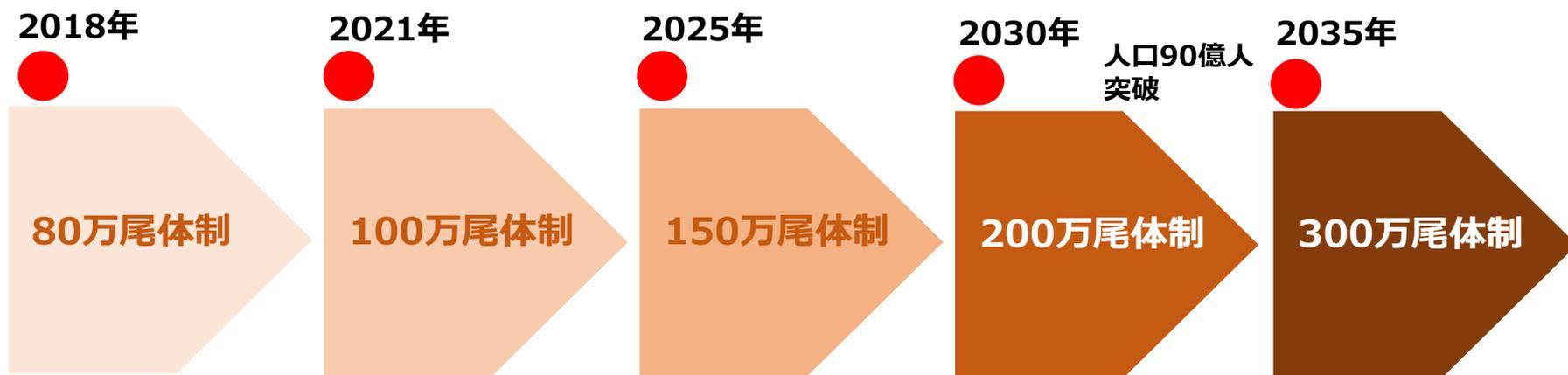
・Eコマース市場への参入

・持続可能な水産業を目指す事業者やシェフとの連携



養殖産業を軸に幅広く展開可能な新規ビジネス市場への参入

■ 2035年までの養殖生産体制（目標）



養殖管理体制の向上

錦江湾エリアにおける養殖・輸出の特区（ライセンス化）

港や施設設備の整備・新設

国内物流網の整備

販売エリア・チャネルの拡大

A
C
ベイエリアの構築

始良市

霧島市

3rd phase

■ **AC (Aqua Culture) ベイエリアの構築**

鹿児島市

垂水市

錦江湾エリアを 水産関連企業の集積地へ (Aqua Culture Bay Areaの構築)

錦江湾奥

